



陳情 5 第 3 号

2023年1月27日

五十嵐 立青 つくば市長 殿、五頭 泰誠 つくば市議会議長 殿

理事長

理事長

### 洞峰公園の無償移管の受け容れを求める要望書

私たちはつくば市の住民です。洞峰公園は、つくばが市街地化される際、高校の先生方を中心とする先人が中心になって実施した、現在の環境アセスメントの先駆けとも言える洞峰沼一帯の環境調査<sup>\*1</sup>とそれに基づく提言<sup>\*2</sup>をもとに原型が出来上がった公園です。そのおかげで洞峰沼とその周辺の豊かな自然環境が守られた、「つくば市を代表する歴史的で文化的に価値ある公園」であることを誇りに思っています。また、つくばやその周辺の子育て世代やあらゆる世代の人たちにとって、安心して過ごせる健全な公園であると思っております。

さて、この度、洞峰公園を管理する茨城県より「洞峰公園パークPFI事業」が発表され実行に移されようとしており、グランピング、ドッグラン、BBQ等の施設の建設により、公園内の環境や景観、風紀、安全、さらには公園周辺の道路事情も含めた周辺環境も悪化することが懸念されています。これに対して、いろいろな方面からこの計画に反対する住民の声が上がり、茨城県は当初計画の見直し案を提示すると同時に、洞峰公園の運営を茨城県からつくば市に無償で移管する代替案を示しました。

そこで、私たちは、茨城県からつくば市に無償で移管する代替案を、上記事業に係る問題を解決する県からの唯一の提案として捉え、この提案を受け容れて茨城県との交渉を進めていただくことを要望します。この提案を受け容れることで、先人たちが残してくれた洞峰公園の歴史的、文化的自然資産としての

価値を最も理解することができる「つくば市」が、今後、将来に亘って、「市の公園」として、「自らの手で守り」、「後世に残していく」ことができます。そして、この受け容れは、「過去からの先人たちの努力により守られ、つくられてきた恵み豊かな自然資産を、敬意と感謝を持って未来の世代に継承し発展させていくことを掲げる『つくば市の未来構想』」に符合するものと考えます。

もちろん、茨城県からつくば市への移管となると、これまで茨城県が行ってきた公園の管理・運営を今後つくば市が行わなければならないため費用の拠出が問題になりますが、今後、産官学で知恵を出しあい、オールつくばで持続可能な公園の維持管理に取り組んではいかがでしょうか。そして、私たち住民も、継続して行われてきた公園の美化、見回りなど公園の管理・運営に係る活動に、これまで以上に積極的に「市民参加」する所存です。

以上

※1 昭和44年度 特別地域自然財分布調査報告書（鹿島・行方地区、筑波研究学園都市地区）、  
茨城県教育委員会、昭和45年3月31日

※2 筑波研究学園都市 洞峰沼の整備と管理保全に関する検討報告書、日本住宅公団 研究学園  
都市開発局、社団法人 日本公園緑地協会、昭和53年2月